

「ブロードバンド・ゼロ地域」の解消について

京都市ではこのたび、「京都市ブロードバンド・ゼロ地域解消プラン」を策定し、ブロードバンドが利用できない地域の解消に向けて取り組みます。

この事業は、国の経済危機対策などの交付金を活用して取り組むもので、携帯電話事業者との協働により、平成22年度末までに解消することを目指し、移動通信用鉄塔施設等の整備を進めていきます。

1 ブロードバンドが利用できない地域

京都市の山間地域の一部では、採算性等の理由により、事業者の自主整備が進まないことから、ブロードバンドが整備されていない状況となっています。

北 区	中川(杉阪・真弓), 小野郷, 雲ヶ畑,
左京区	花脊, 広河原, 久多,
右京区	京北
合 計	7地域, 524世帯(62km ²) 【詳しくは、別紙1を参照】

2 主な整備内容

上記の地域で、移動通信用鉄塔施設8基を整備し、それらの鉄塔施設と携帯電話事業者の中継施設を結ぶ光ファイバの伝送路を整備します。

携帯電話の通話エリア拡大も併せて図れることから、通信技術は携帯電話の高速データ通信の手法を採用します。 【イメージ図は、別紙2を参照】

整備主体

整備内容		整備主体
移動通信用鉄塔施設 【新設8基分】		京都市
伝 送 路	【5基分】	京都市
	【3基分】	携帯電話事業者

また、株式会社NTTドコモが主体となり、以下の整備を行っていただきます。

近隣地域に鉄塔施設がある場合

通話エリアを継ぎ足すなど、高速データ通信エリアの拡大

地域内に鉄塔施設がすでにあるが、高速データ通信に対応していない場合

高速データ通信設備への改修

3 京都市の事業費

総額

9億4,400万円(うち,国の交付金約4億7,900万円)

{ 平成21年度当初予算 4,600万円
 " 補正予算 8億9,800万円【9月市会に提案】

内訳

移動通信用鉄塔施設整備(8基) ... 4億3,000万円

伝送路整備(5基分) ... 5億1,400万円

4 スケジュール

	区分	平成21年度		平成22年度			
		10月	1月	4月	7月	10月	1月
鉄塔	整備地選定	←	→				
	用地取得		←	→			
	地質調査・設計		←	→			
	工事			←	→		
伝送路	設計	←	→				
	工事			←	→		

5 参画する携帯電話事業者

株式会社NTTドコモ, KDDI株式会社, ソフトバンクモバイル株式会社

6 ブロードバンドの利用料金

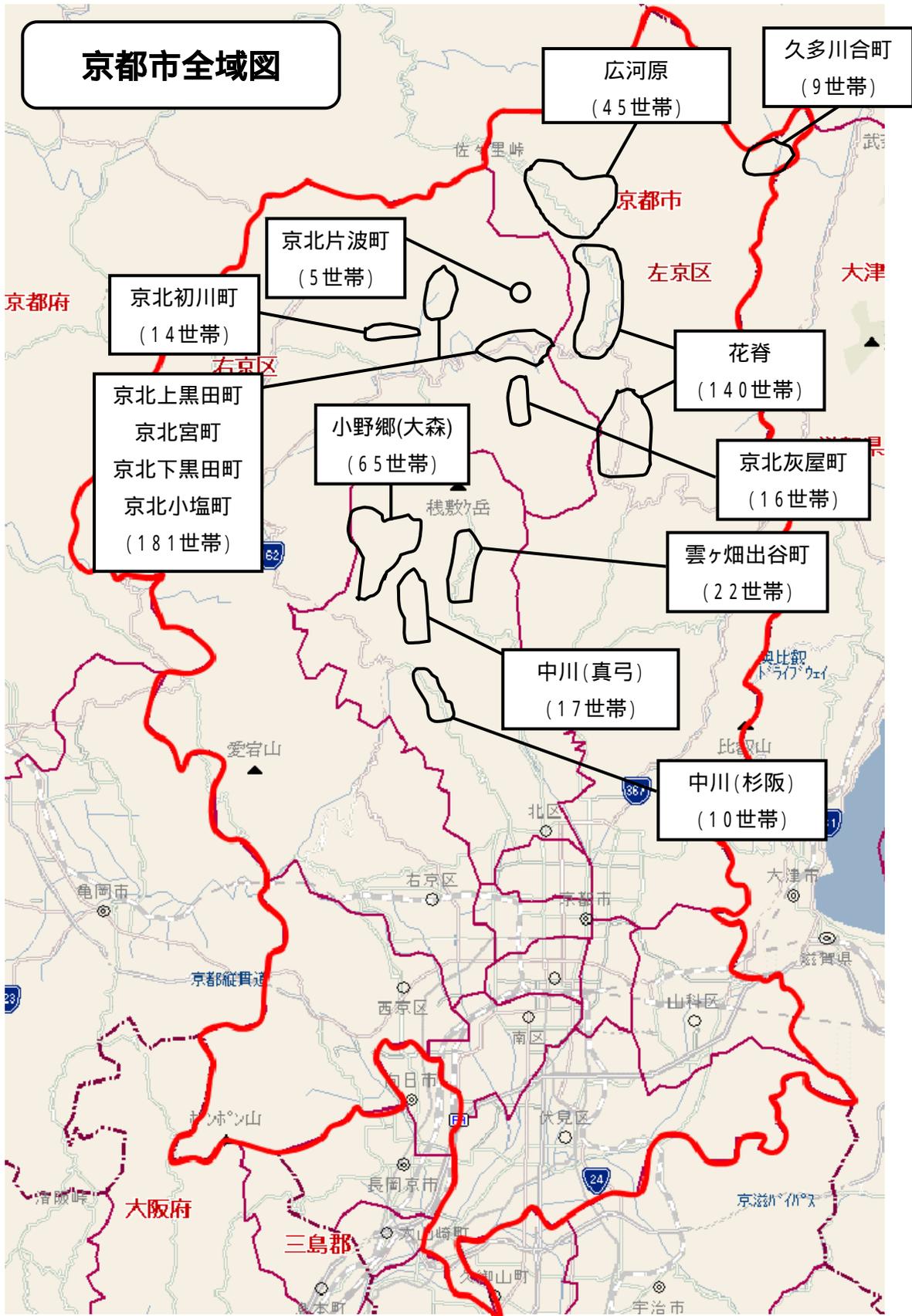
携帯電話事業者によっても異なるが,月6,000円程度の高速データ利用料が掛かります。(通話に掛かる費用は,別途必要です。)

参考 ブロードバンドとは

大容量のデータの送受信が可能な高速インターネット回線のことを,ブロードバンドという。

光ファイバや携帯電話の高速データ通信,ADSLなどの通信技術を用いる。

ブロードバンドが利用できない地域



本市北部山間地域のブロードバンド・ゼロ地域：7地域 524世帯(62km²)

携帯電話の高速データ通信を使ったブロードバンド環境のイメージ図

